

ソリッド フリーアドレス用デスク 基本+増連 組立説明書

RFTFT-12 (AD) WH (OA) -T, RFTFT- (AD) WH (BK) -CB, RFTFT-12WH (BK) -L (ML)

■組立説明書は (1) ~ (3) の3種類ございます。下記をご参照頂き、適合する番号の組立説明書をご覧ください。

<p>基本の梱包に同梱されている説明書をご覧ください。</p> <p>(1) 基本 幅 2400mm の場合</p>	<p>3 ページへお進みください。</p> <p>(2) 増連 幅 3600mm 以上に組み立てる場合</p>	<p>8 ページへお進みください。</p> <p>(3) 後日増連 後日 (1) 又は (2) に増連する場合</p>
---	--	--

基本部材

お買い上げありがとうございます。部品の個数を参照し、不足や不具合がないかをご確認ください。不足や不具合があった場合は配送いたします。電話にて部品名をお伝えください。

<p>梱包 1 RFTFT-12WH (OA) -T</p> <p>①右天板 × 2 ②左天板 × 2</p> <p>組み立てには梱包 1 を 2 梱包使用します。上記は 2 梱包分の数量です。</p>	<p>梱包 2 RFTFT-12WH (BK) -L</p> <p>③脚部 × 2</p> <p>アジャスター取付済</p>	<p>梱包 3 RFTFT-12WH (BK) -ML</p> <p>④中間脚 × 1</p> <p>アジャスター取付済</p>
---	---	---

梱包 4 RFTFT-WH (BK) -CB					
⑤幕板 × 4	⑥フレーム × 1	⑦配線受け × 6	⑧六角穴付き皿ねじ × 4 (M6 × 16)	⑨六角穴付き平ねじ × 12 (M6 × 16)	⑩六角レンチ × 1

増連部材 (1台分)

幅 1200 mm を追加する毎に増連部材が必要となります。

<p>梱包 5 RFTFT-12ADWH (OA) -T</p> <p>⑪増連天板 × 2</p>	<p>梱包 6 RFTFT-12WH (BK) -ML</p> <p>⑫中間脚 × 1</p> <p>梱包 3 と同じ部材です。</p> <p>アジャスター取付済</p>	<p>梱包 7 RFTFT-ADWH (BK) -CB</p> <p>梱包 4 と同じ部材です。数量のみが異なります。</p> <p>⑬幕板 × 2 ⑭フレーム × 1</p>			
<p>⑮配線受け × 3 ⑯六角穴付き皿ねじ × 4 (M6 × 16) ⑰六角穴付き平ねじ × 12 (M6 × 16) ⑱ジョイントシャフト × 16 ⑲六角レンチ × 1</p>					

重要 ジョイントシャフトとカムロックの正しい締め付け方法

本商品には **ジョイントシャフト** と **カムロック** を使用して組み立てを行う工程がございます。以下の説明を最後までよくお読みのうえ、組み付けを行ってください。

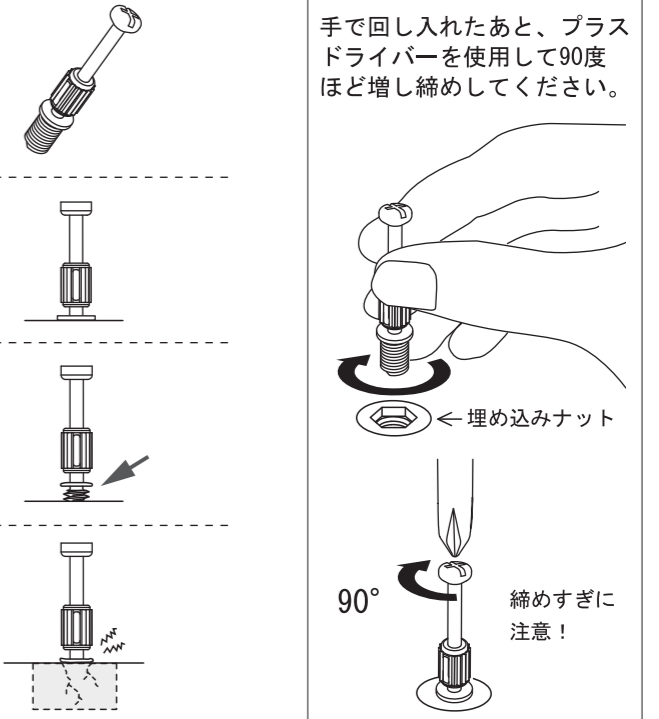
1. ジョイントシャフトの取り付け

ジョイントシャフトを板面の埋め込み(鬼目)ナットに回し入れます。

○ 適切な取り付け
ボルト部分のみが完全に隠れるように回し入れてください。

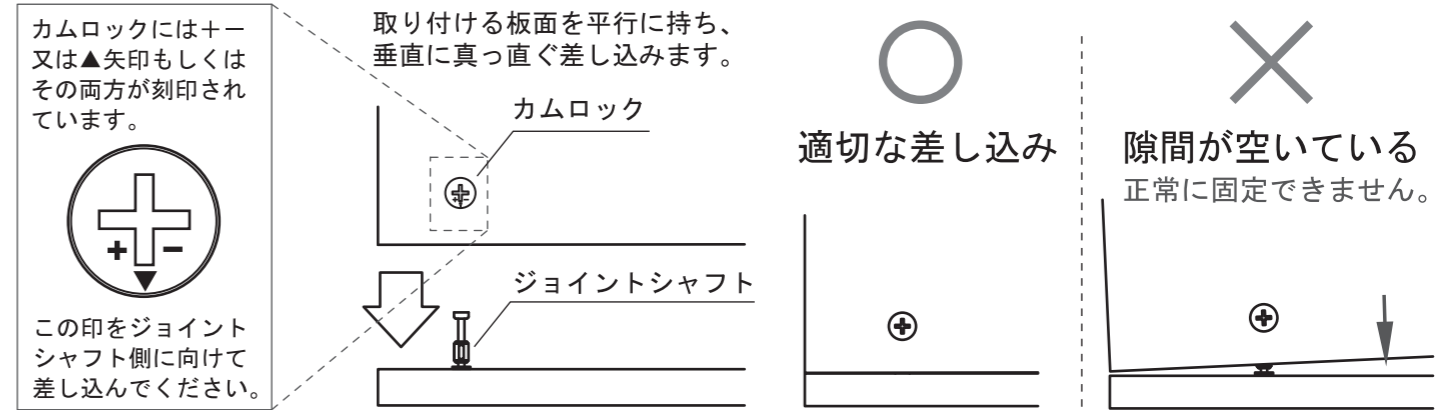
✕ 最後まで締まっていない
抜けや歪みの原因となります。

✕ 締めすぎ
ジョイントシャフトや埋め込みナットが破損する恐れがあります。



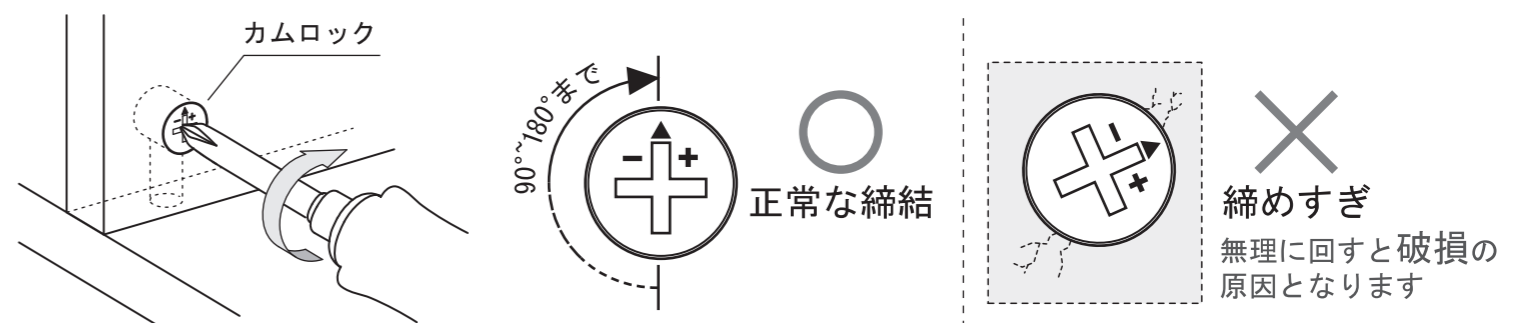
2. ジョイントシャフトの挿入

板面に取り付けられているカムロックに、ジョイントシャフトを差し込みます。



3. ジョイントシャフトとカムロックの固定

プラスドライバーを使用し、カムロックを時計回りに回転させます。回し始めから90°~180°程度で、カムロックがジョイントシャフトとかみ合って固定されます。



(2) 増連 幅 3600mm 以上に組み立てる場合
RFTFT-12 (AD) WH (OA) -T, RFTFT-(AD) WH (BK) -CB, RFTFT-12WH (BK) -L (ML)

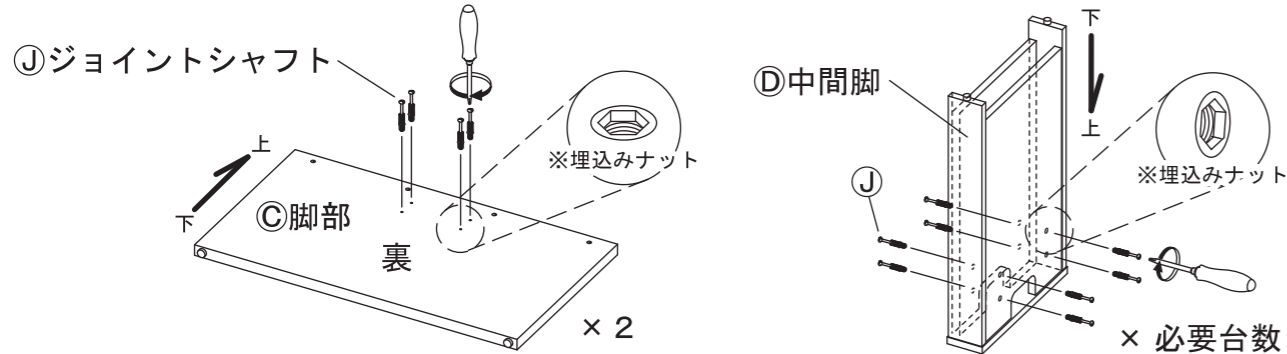
組立の目安
40分～

基本部材 と **増連部材** の必要台数分を使用します。

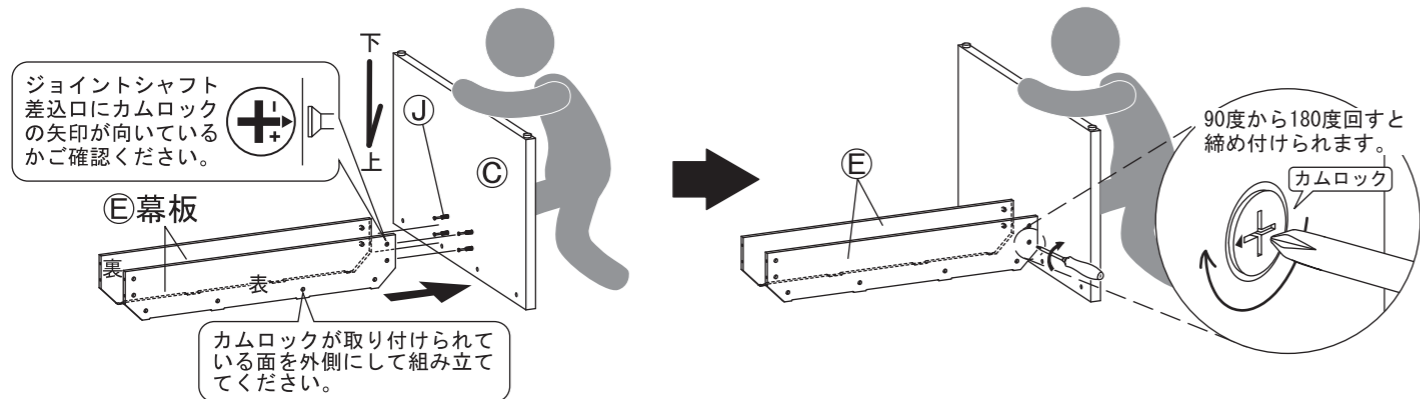
組立前の注意
設置場所で組み立ててください。組み立て後に移動させる際は、天板1枚あたり1人以上で持ち、慎重にゆっくりと移動させてください。

- ▲二人以上で組み立ててください。
- ▲床や壁を傷つけないよう、段ボールまたは布の上で組み立ててください。
- ▲電動ドライバーを使用しないでください。

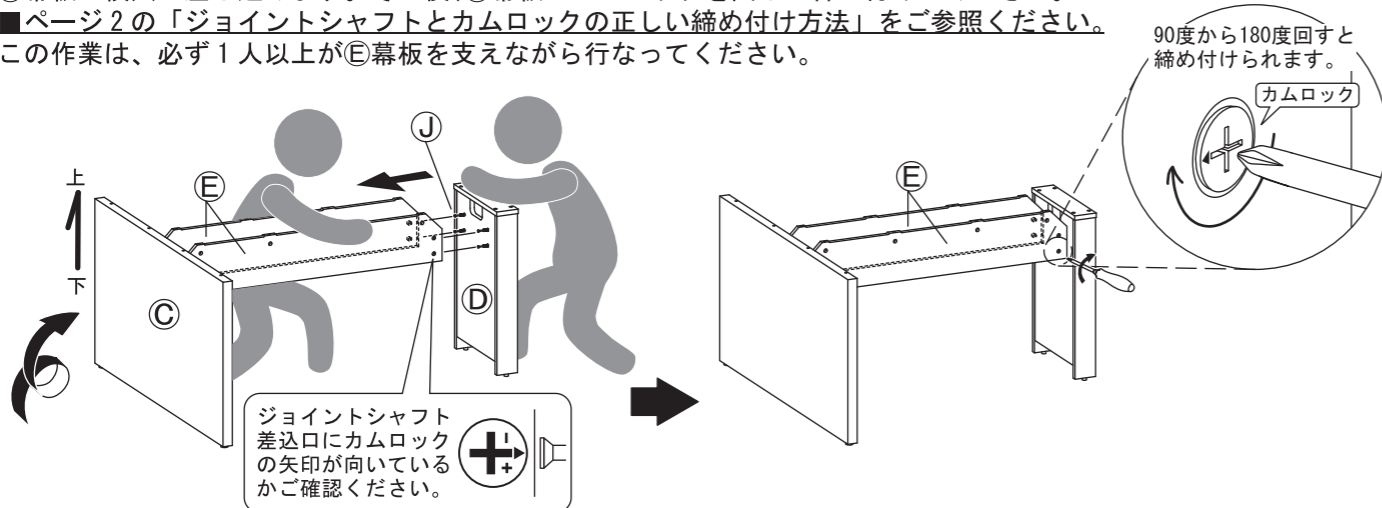
1 ③脚部・④中間脚に①ジョイントシャフトを回し入れてください。
※ジョイントシャフト取り付け部分には、ナットが埋め込まれています。
■ページ2の「ジョイントシャフトとカムロックの正しい締め付け方法」をご参照ください。



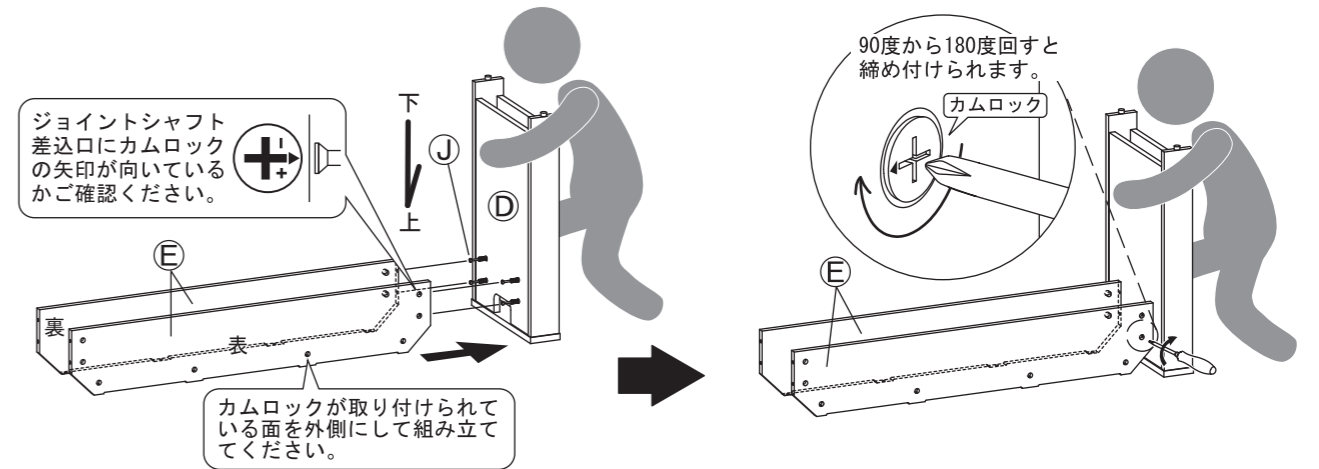
2 ①で組み付けた③脚部の①ジョイントシャフトを、⑤幕板の横穴に差し込みます。その後、⑤幕板のカムロックを回して締め付けてください。
■ページ2の「ジョイントシャフトとカムロックの正しい締め付け方法」をご参照ください。
この作業は、必ず1人以上が③脚部を支えながら行ってください。



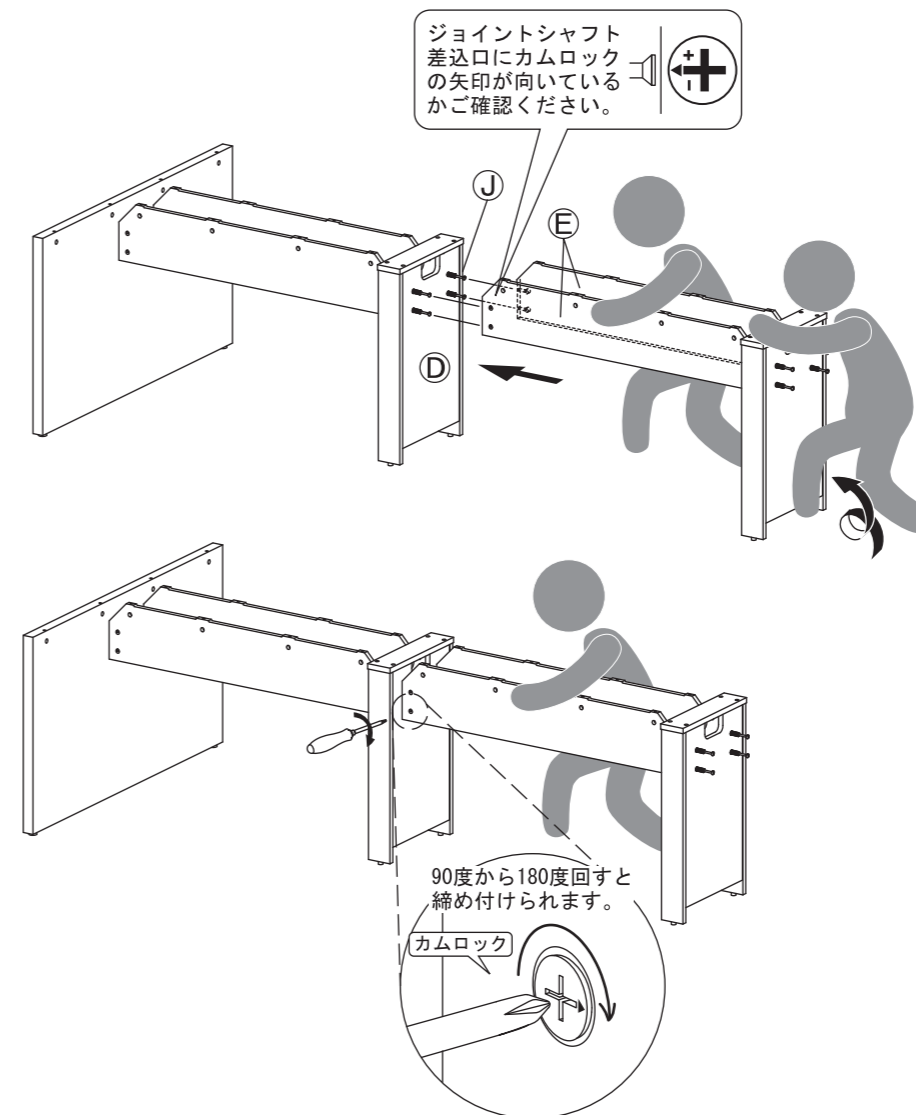
3 ②で組み付けた③脚部・⑤幕板を二人以上で慎重に起こし、①で組み付けた④中間脚の①ジョイントシャフトを、⑤幕板の横穴に差し込みます。その後、⑤幕板のカムロックを回して締め付けてください。
■ページ2の「ジョイントシャフトとカムロックの正しい締め付け方法」をご参照ください。
この作業は、必ず1人以上が⑤幕板を支えながら行ってください。



4 ①で組み付けた③とは別の④中間脚と⑤幕板を用意します。
④中間脚の①ジョイントシャフトを⑤幕板の横穴に差し込みます。その後、⑤幕板のカムロックを回して締め付けてください。
■ページ2の「ジョイントシャフトとカムロックの正しい締め付け方法」をご参照ください。
この作業は、必ず1人以上が④中間脚を支えながら行ってください。



5 ④で組み立てた④中間脚・⑤幕板を二人以上で慎重に起こし、③で組み立てた④中間脚の①ジョイントシャフトを、⑤幕板の横穴に差し込みます。その後、⑤幕板のカムロックを回して締め付けてください。
■ページ2の「ジョイントシャフトとカムロックの正しい締め付け方法」をご参照ください。
この作業は、必ず1人以上が⑤幕板を支えながら行ってください。



組立上の注意

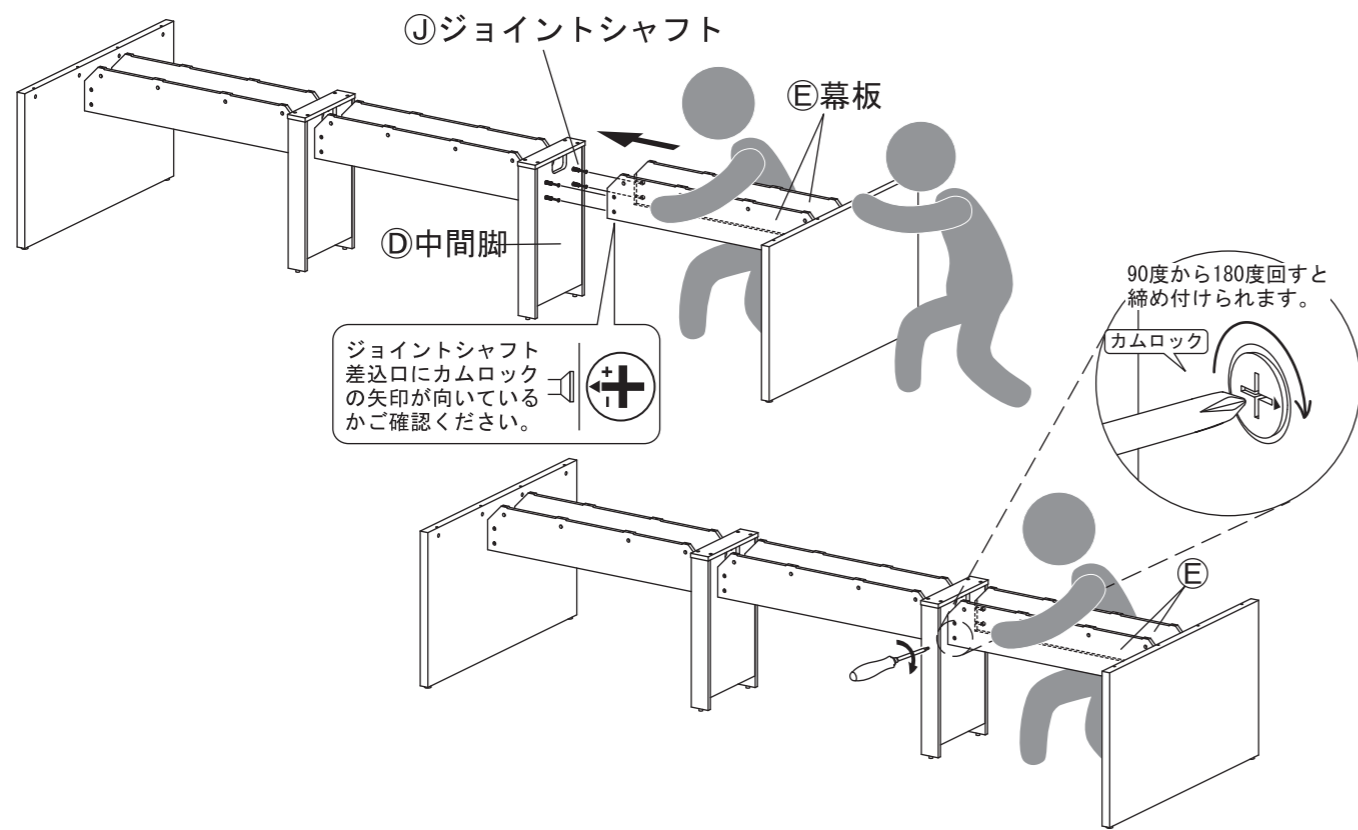
この工程で組み立てる④中間脚・⑤幕板の連結台数は完成予定のデスクの幅によって異なります。デスクの幅に応じて**4****5**の工程を繰り返してください。

デスク幅	④の必要台数
W3600	1台
W4800	2台
W6000	3台
W7200	4台

④中間脚・⑤幕板

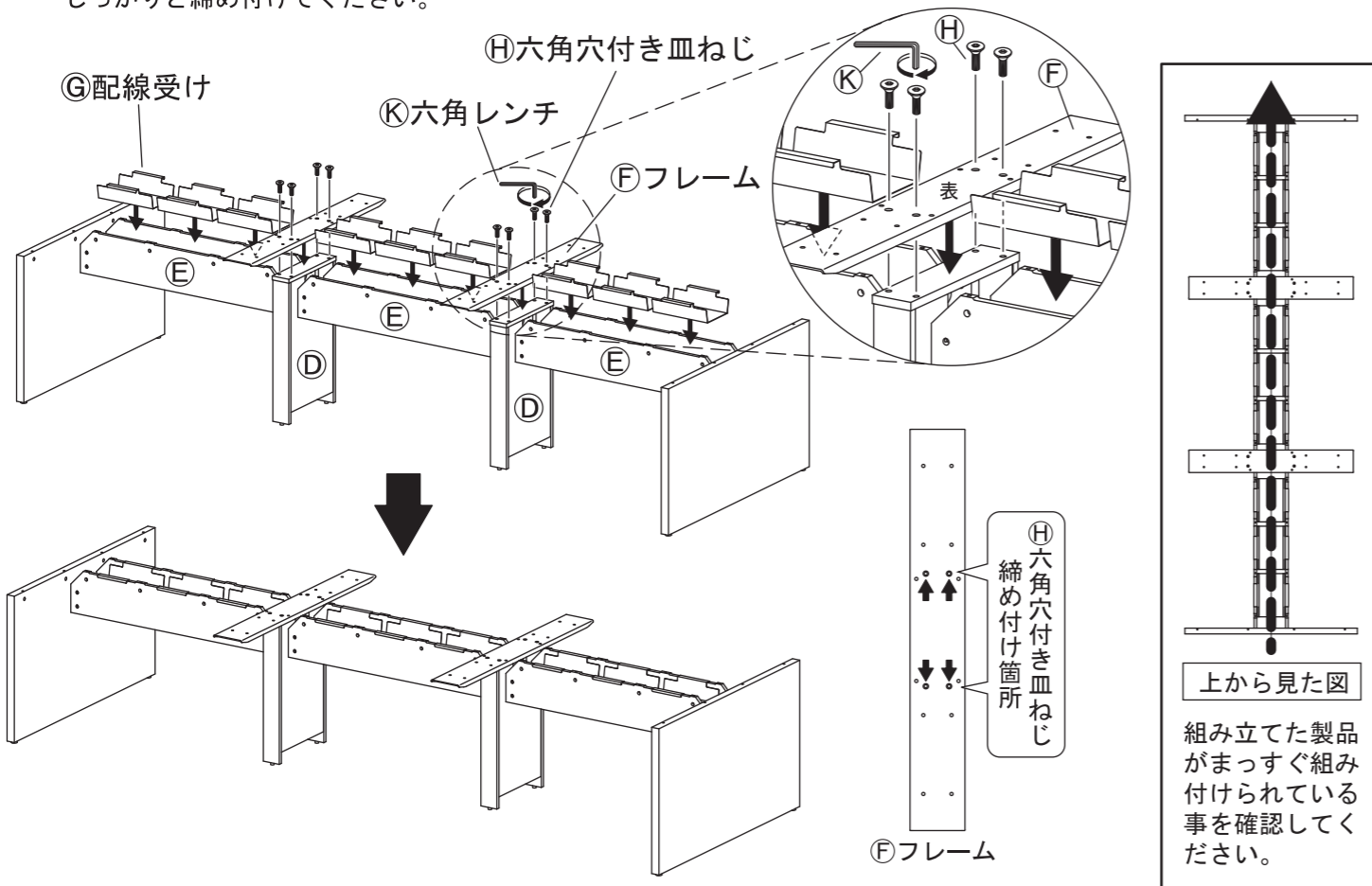
6

2の組み立てをもう一組行い、D中間脚のJジョイントシャフトをE幕板の横穴に差し込みます。その後、E幕板のカムロックを回して締め付けてください。
 ■ページ2の「ジョイントシャフトとカムロックの正しい締め付け方法」をご参照ください。
 この作業は、必ず1人以上がE幕板を支えながら行ってください。



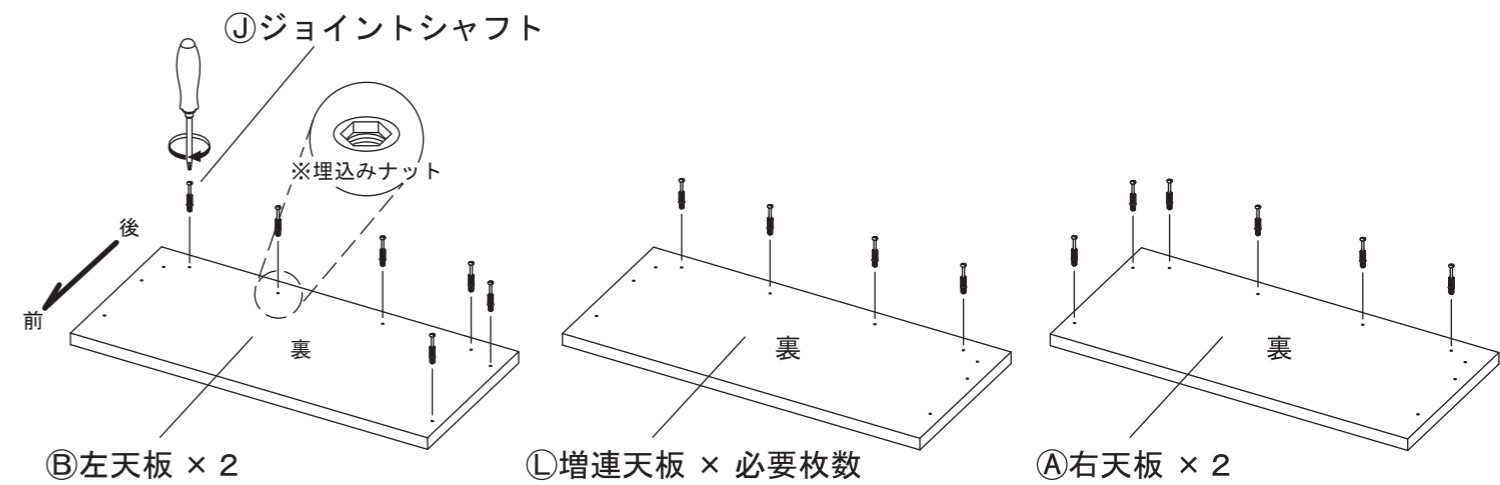
7

E幕板にG配線受けを乗せます。その後、D中間脚の上にFフレームを二人以上で慎重に乗せ、K六角レンチを使ってH六角穴付き皿ねじをしっかりと締め付けてください。



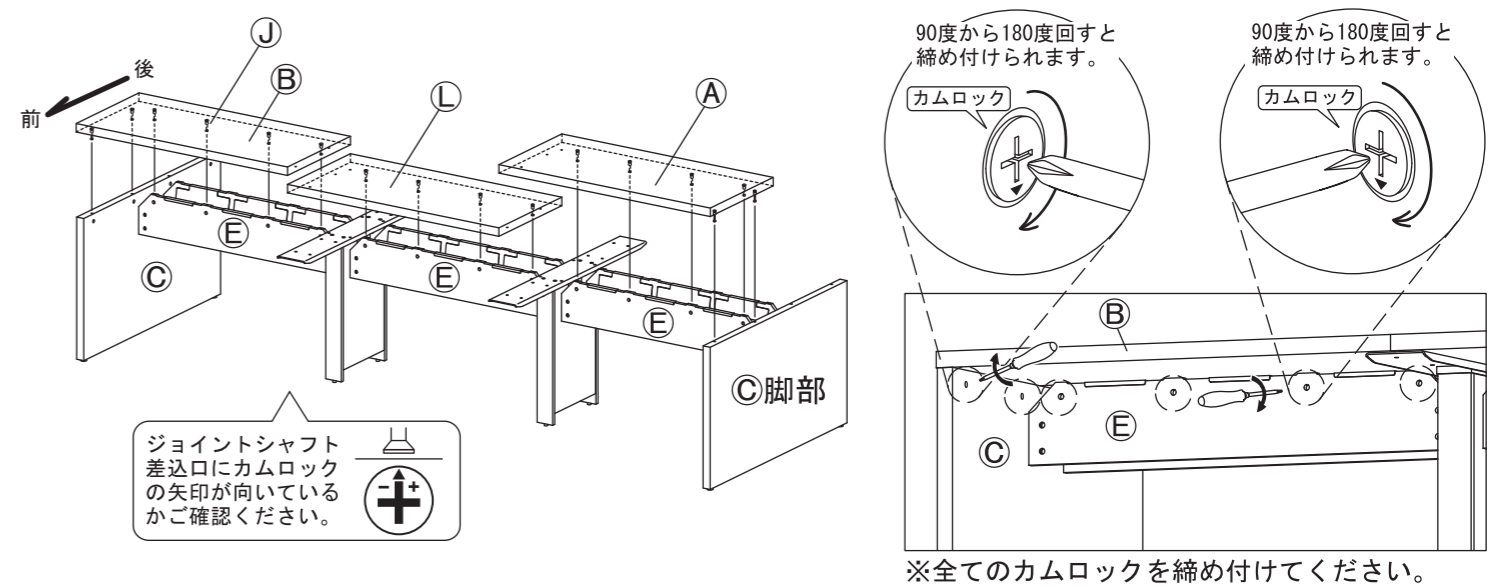
8

A右天板・B左天板・L増連天板にJジョイントシャフトを回し入れてください。
 ※ジョイントシャフト取り付け部分には、ナットが埋め込まれています。
 ■ページ2の「ジョイントシャフトとカムロックの正しい締め付け方法」をご参照ください。

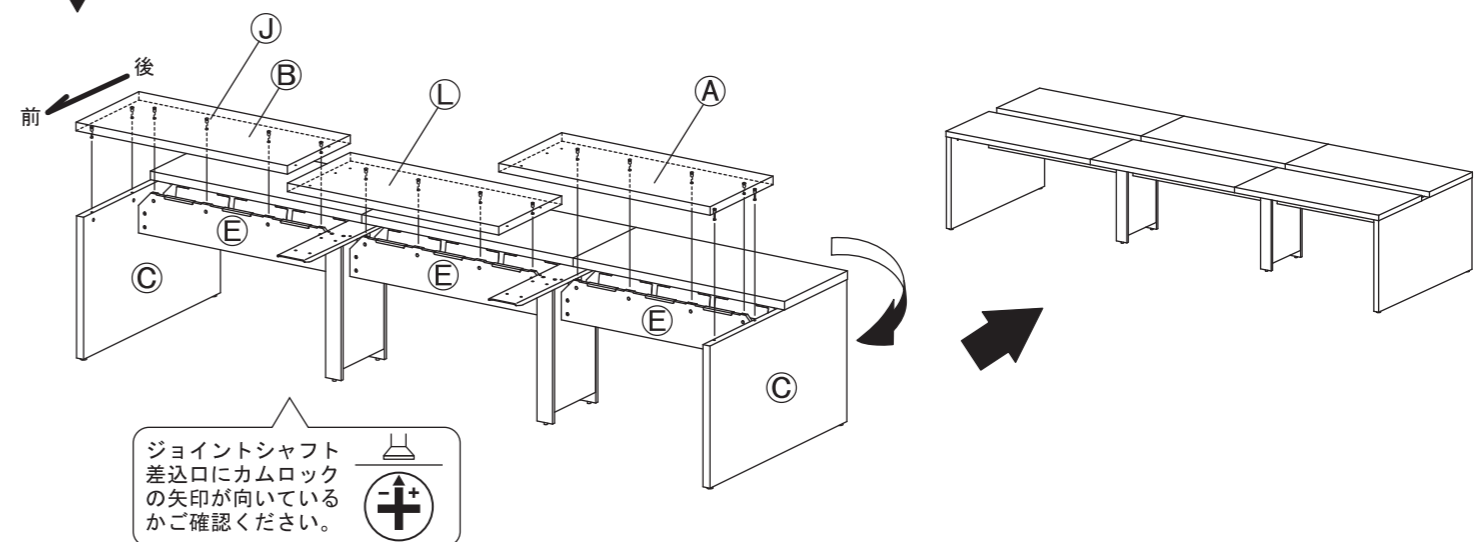


9

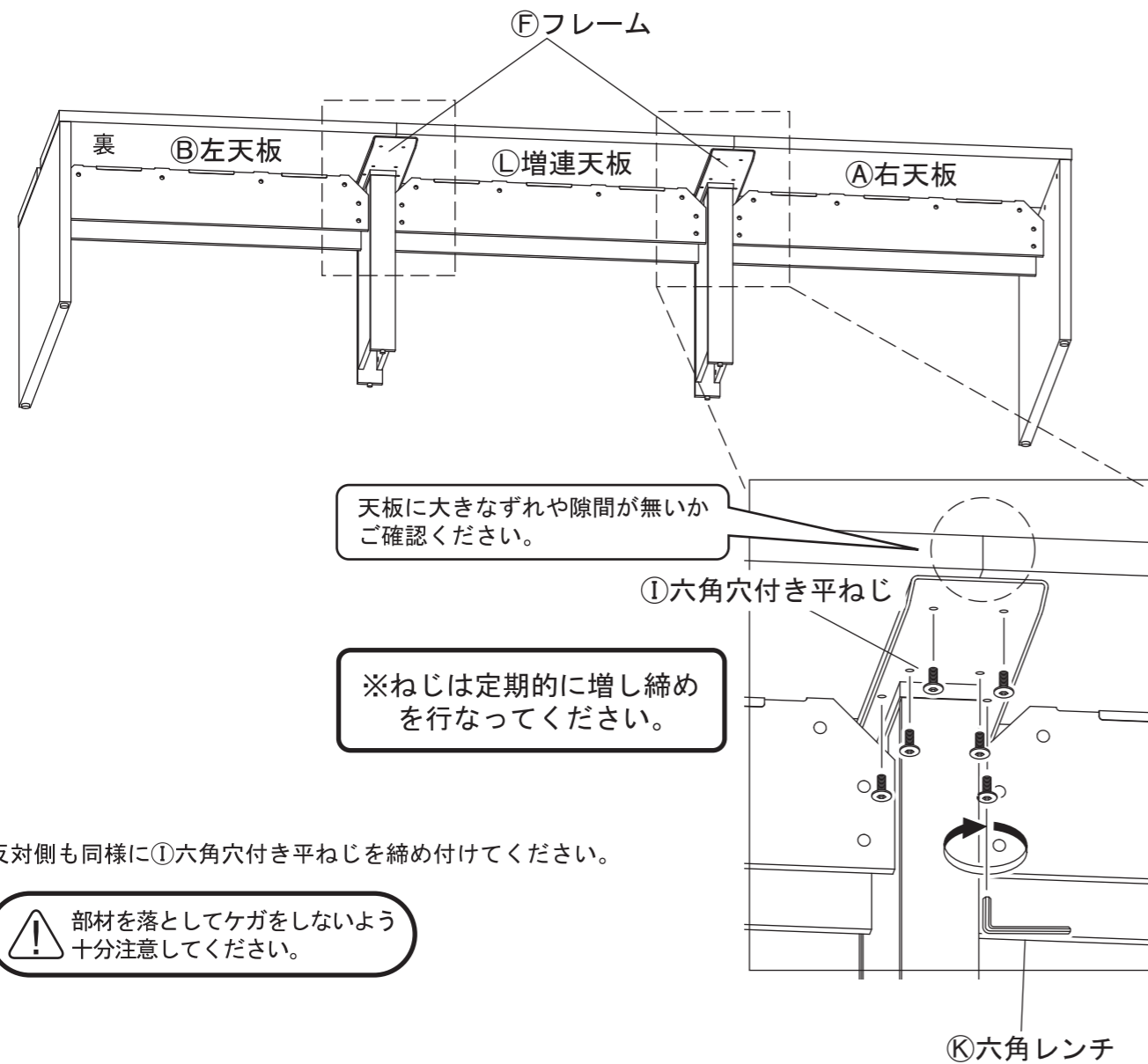
7で組み付けた部材に天板を取り付けます。
 A②左右天板・L増連天板を1枚ずつ二人以上で慎重に持ち上げ、取り付けしたJジョイントシャフトをC脚部・E幕板の横穴に差し込んでください。その後、C脚部・E幕板のカムロックを回して締め付けてください。
 ■ページ2の「ジョイントシャフトとカムロックの正しい締め付け方法」をご参照ください。



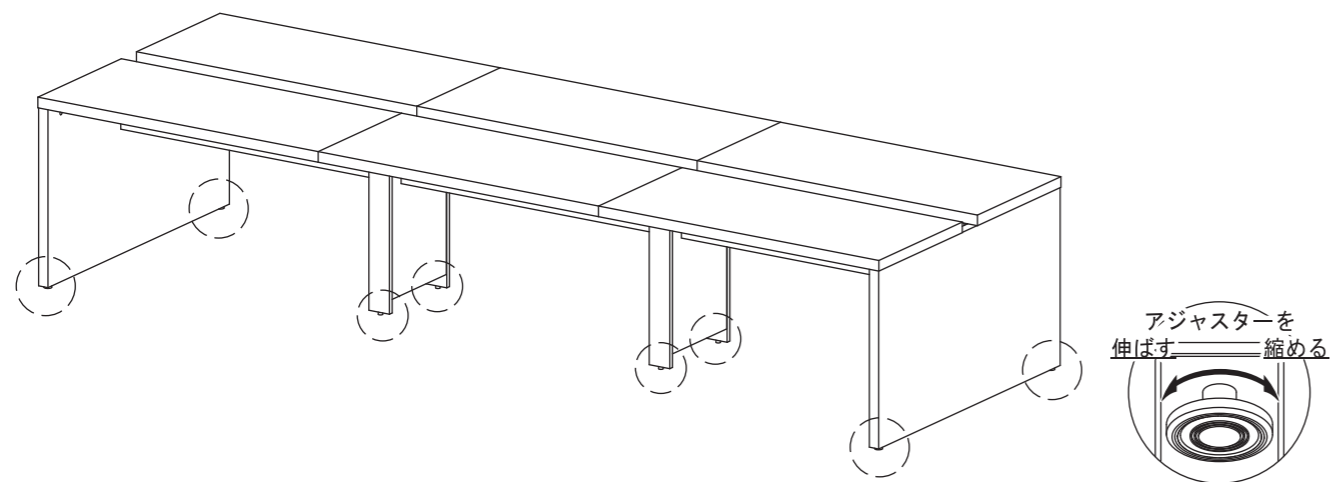
反対側も同様にA②左右天板・L増連天板を取り付けてください。



①②左右天板・③増連天板と④フレームを固定します。
 ①②左右天板・③増連天板の裏側から、⑤六角レンチを使って⑥六角穴付き平ねじを締め付けてください。



①②左右天板・③増連天板が床と水平になるよう、アジャスターを回して調整してください。



組み立て後に移動させる際は、全てのねじ・カムロックが正しく締め付けられている事を確認し天板1枚あたり1人以上で持ち、慎重にゆっくりと移動させてください。

床に接地していないアジャスターを回して水平になるように調整し、がたつかないようにしてください。

(3) 後日増連 後日 (1) 又は (2) に増連する場合

RFTFT-12 (AD) WH(OA) -T, RFTFT-(AD) WH (BK) -CB, RFTFT-12WH (BK) -L (ML)

組立の目安
40分～

増連部材 の必要台数分を使用します。

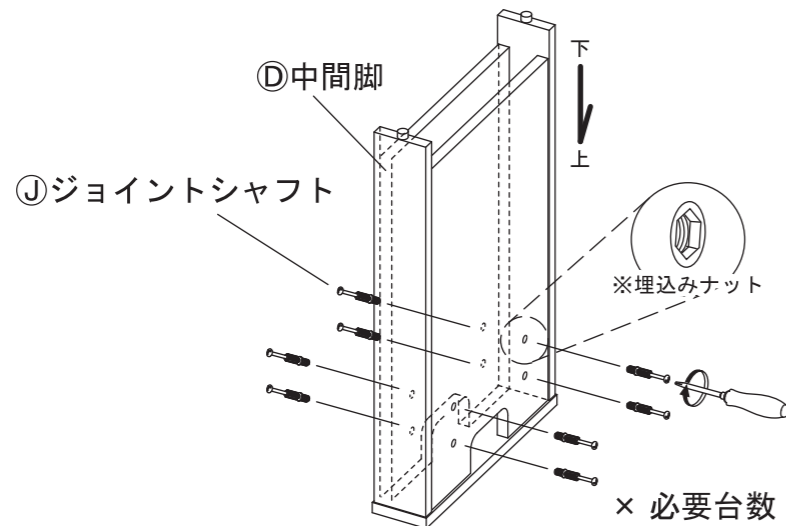


組立前の注意

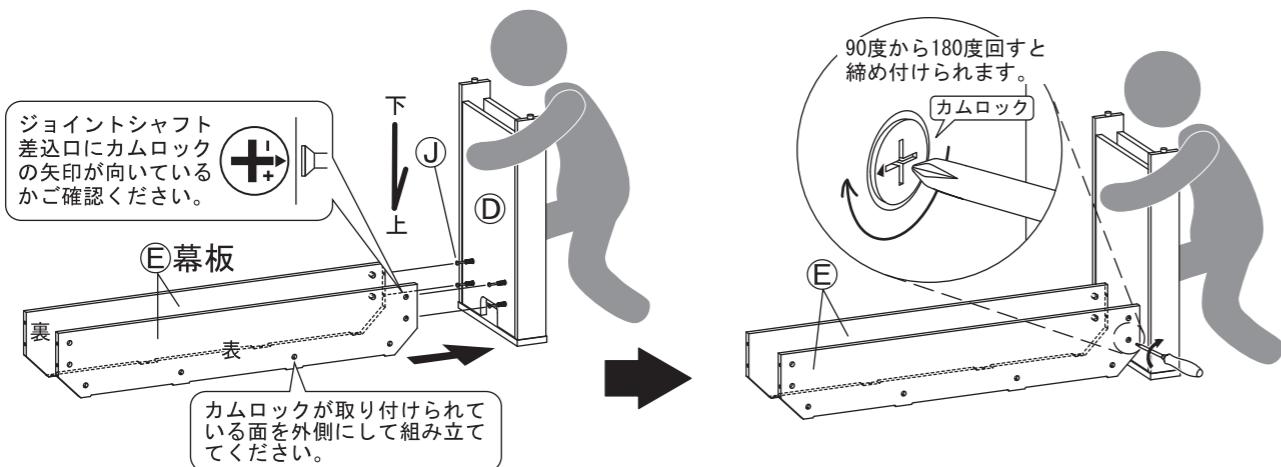
設置場所で組み立ててください。組み立て後に移動させる際は、天板1枚あたり1人以上で持ち、慎重にゆっくりと移動させてください。

- ▲二人以上で組み立ててください。
- ▲床や壁を傷つけないよう、段ボールまたは布の上で組み立ててください。
- ▲電動ドライバーを使用しないでください。

- 1 ①中間脚に①ジョイントシャフトを回し入れてください。
※ジョイントシャフト取り付け部分には、ナットが埋め込まれています。
■ページ2の「ジョイントシャフトとカムロックの正しい締め付け方法」をご参照ください。

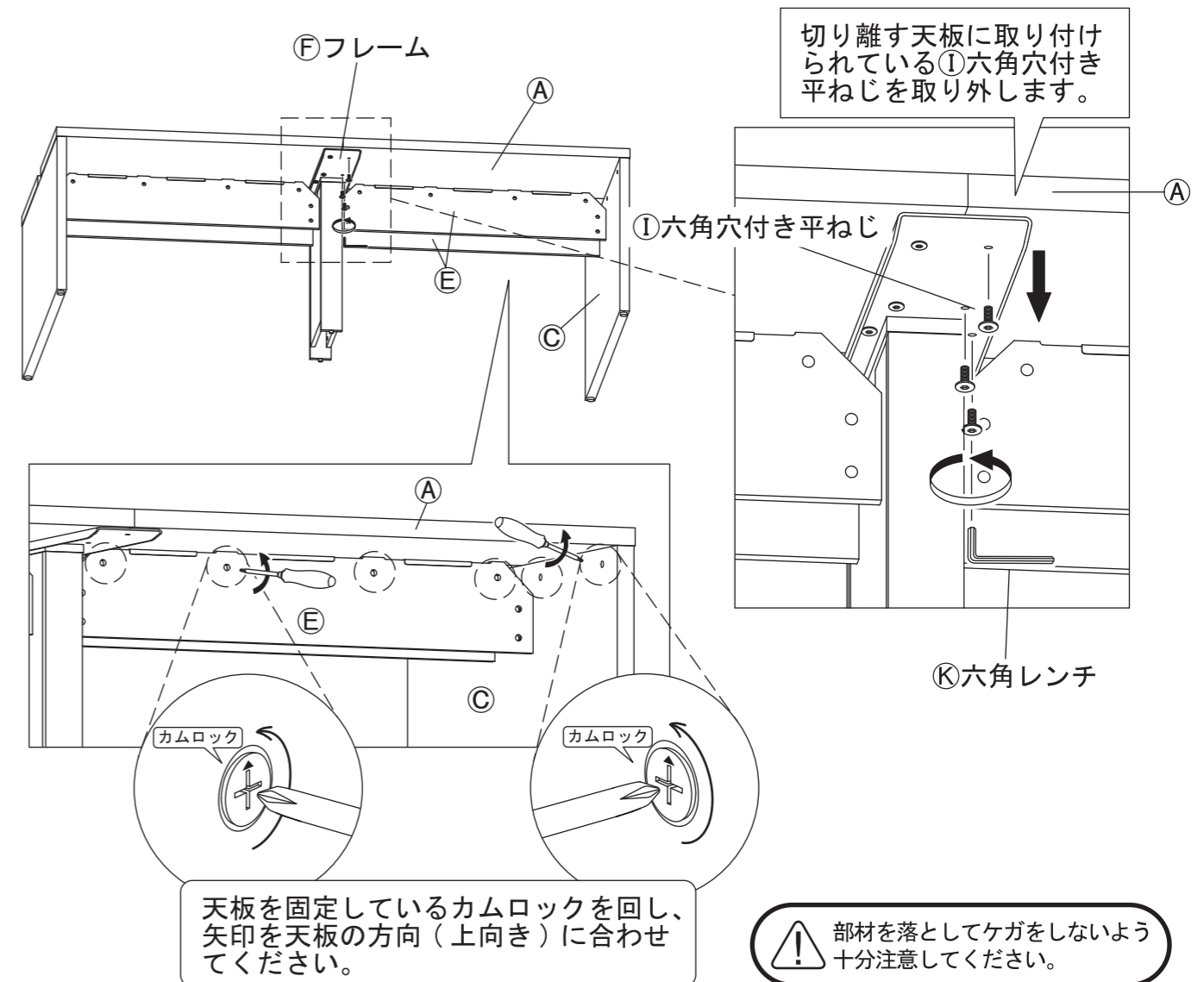
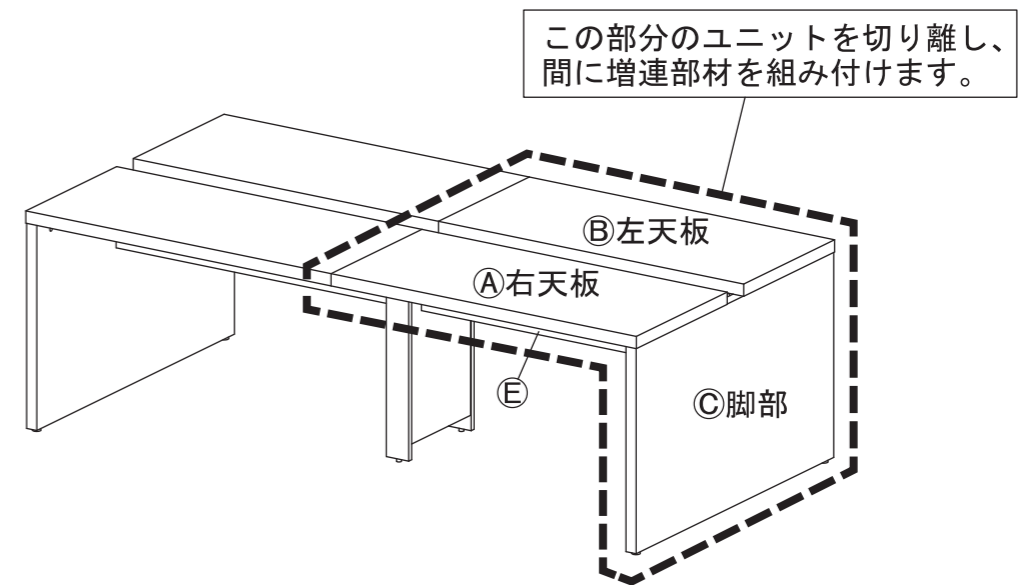


- 2 1で組み付けた①中間脚の①ジョイントシャフトを⑤幕板の横穴に差し込みます。その後、⑤幕板のカムロックを回して締め付けてください。
■ページ2の「ジョイントシャフトとカムロックの正しい締め付け方法」をご参照ください。
この作業は、必ず1人以上が①中間脚を支えながら行ってください。



この工程を増連台数分行ってください。

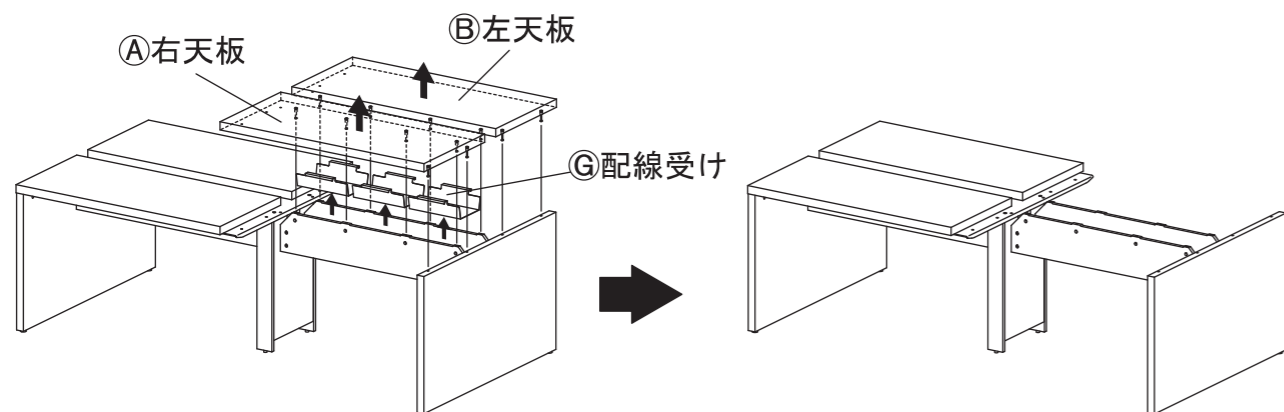
- 3 増連部材を組み付ける為に、組み立て済みの製品を分解します。
⑥フレームに取り付けられている①六角穴付き平ねじを⑧六角レンチを使って取り外します。その後、⑤幕板・③脚部に取り付けられているカムロックを回して緩めてください。



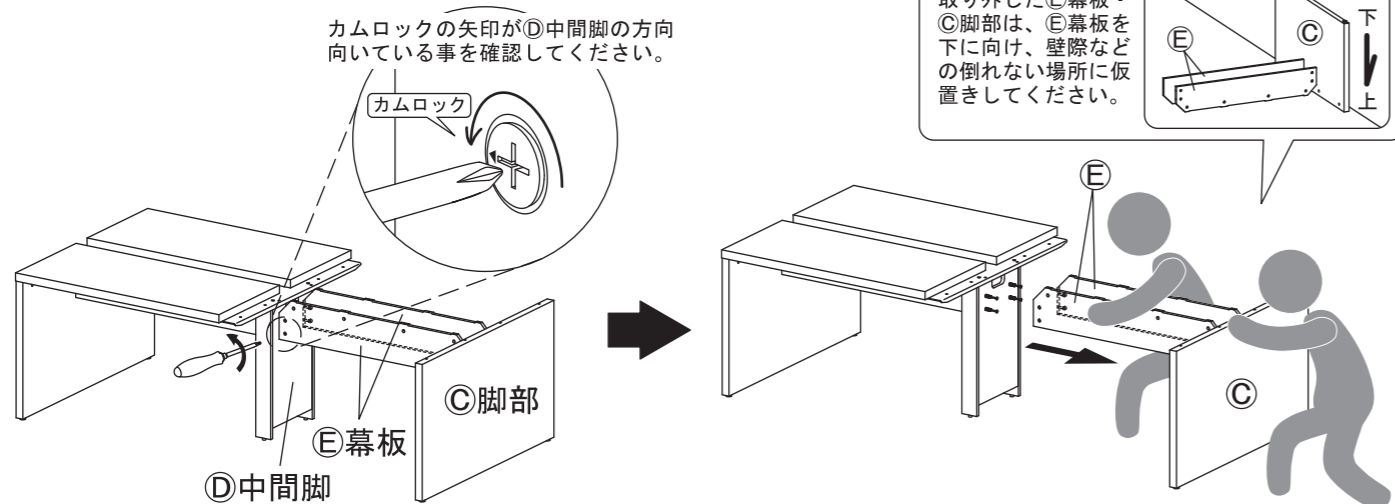
⚠ 部材を落としてケガをしないよう十分注意してください。

対面(⑥左天板側)も同様の作業を行ってください。

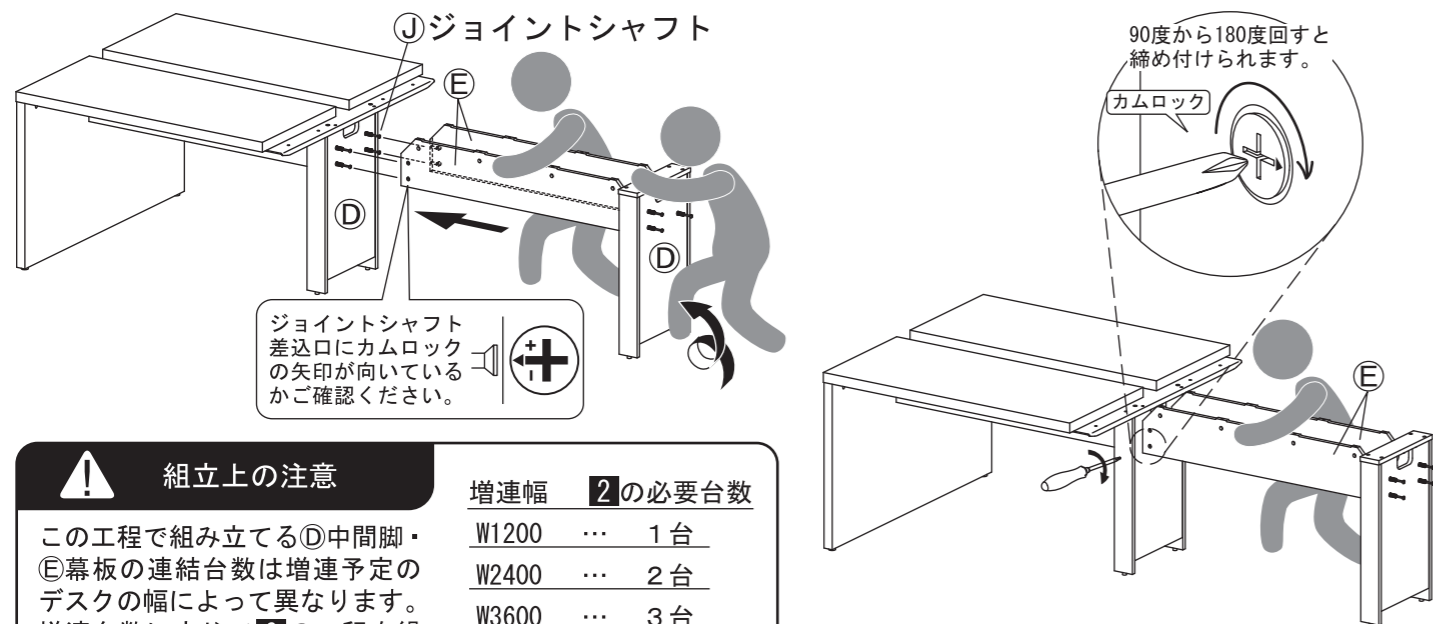
4 ④左右天板・⑤配線受けを取り外します。
④左右天板は1枚ずつ二人以上で慎重に持ち上げて取り外してください。



5 ⑥幕板に取り付けられている⑦中間脚側のカムロックを回して緩めてください。
その後、⑥幕板・⑧脚部を二人以上で慎重に取り外してください。
この作業は、必ず1人以上が⑥幕板を支えながら行ってください。



6 2で組み立てた⑦中間脚・⑥幕板を二人以上で慎重に起こし、⑦中間脚の⑨ジョイントシャフトを、⑥幕板の横穴に差し込みます。
その後、⑥幕板のカムロックを回して締め付けてください。
■ページ2の「ジョイントシャフトとカムロックの正しい締め付け方法」をご参照ください。
この作業は、必ず1人以上が⑥幕板を支えながら行ってください。

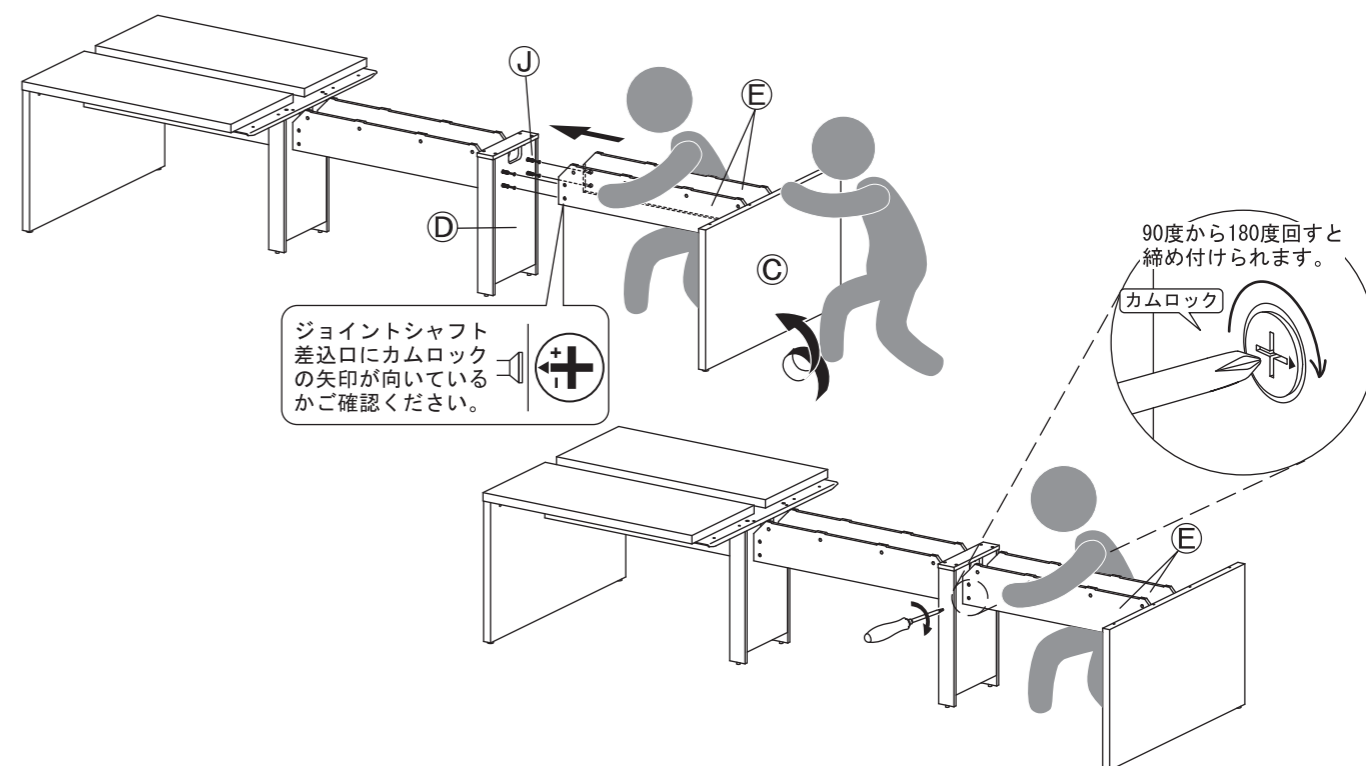


組立上の注意

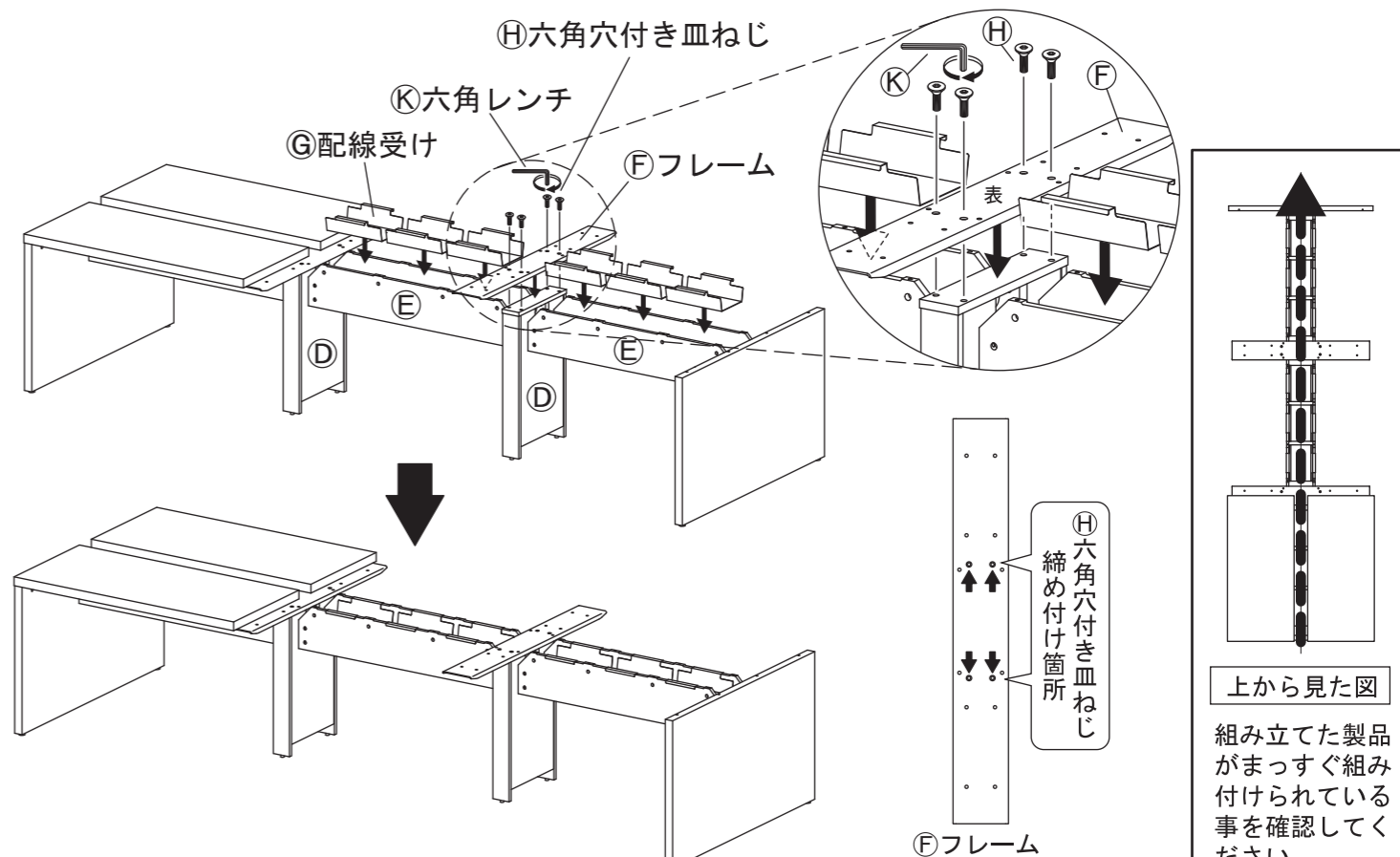
この工程で組み立てる⑦中間脚・⑥幕板の連結台数は増連予定のデスクの幅によって異なります。増連台数に応じて6の工程を繰り返してください。

増連幅	2の必要台数
W1200	1台
W2400	2台
W3600	3台
W4800	4台

7 5で取り外した⑧脚部・⑥幕板を二人以上で慎重に起こし、⑦中間脚の⑨ジョイントシャフトを⑥幕板の横穴に差し込みます。
その後、⑥幕板のカムロックを回して締め付けてください。
■ページ2の「ジョイントシャフトとカムロックの正しい締め付け方法」をご参照ください。
この作業は、必ず1人以上が⑥幕板を支えながら行ってください。



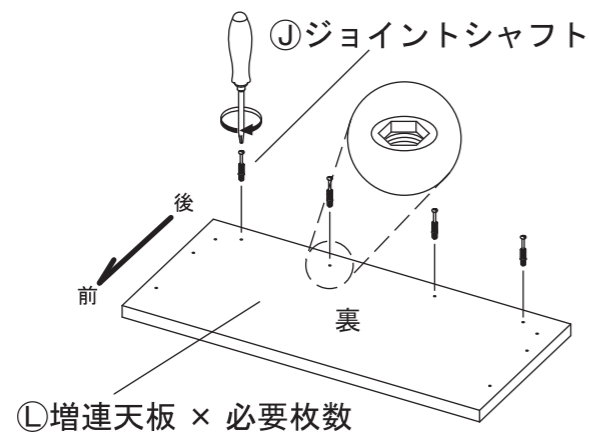
8 ⑥幕板に⑤配線受けを乗せます。
その後、⑦中間脚の上に⑩フレームを二人以上で慎重に乗せ、⑪六角レンチを使って⑫六角穴付き皿ねじをしっかりと締め付けてください。



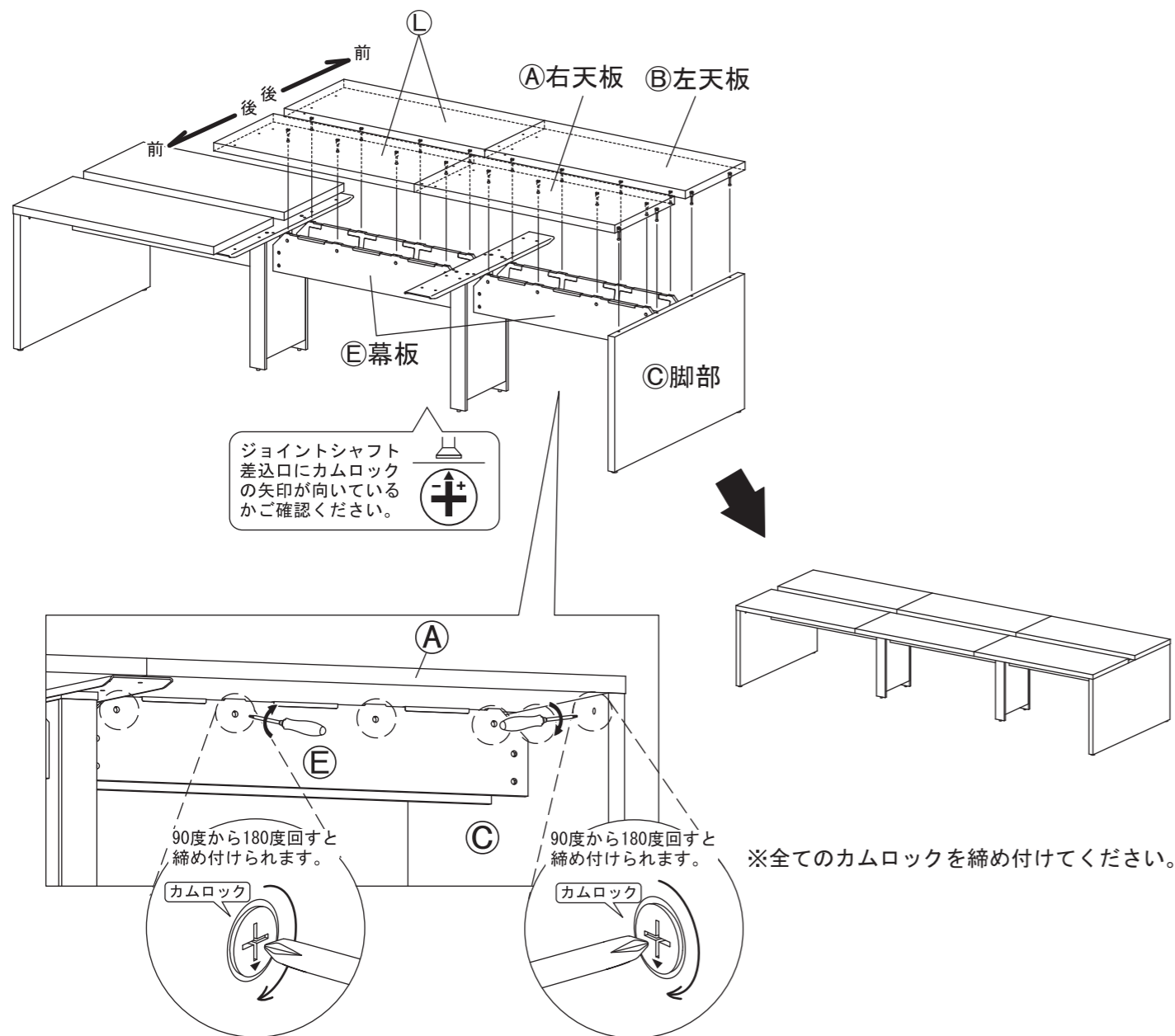
上から見た図

組み立てた製品がまっすぐ組み付けられている事を確認してください。

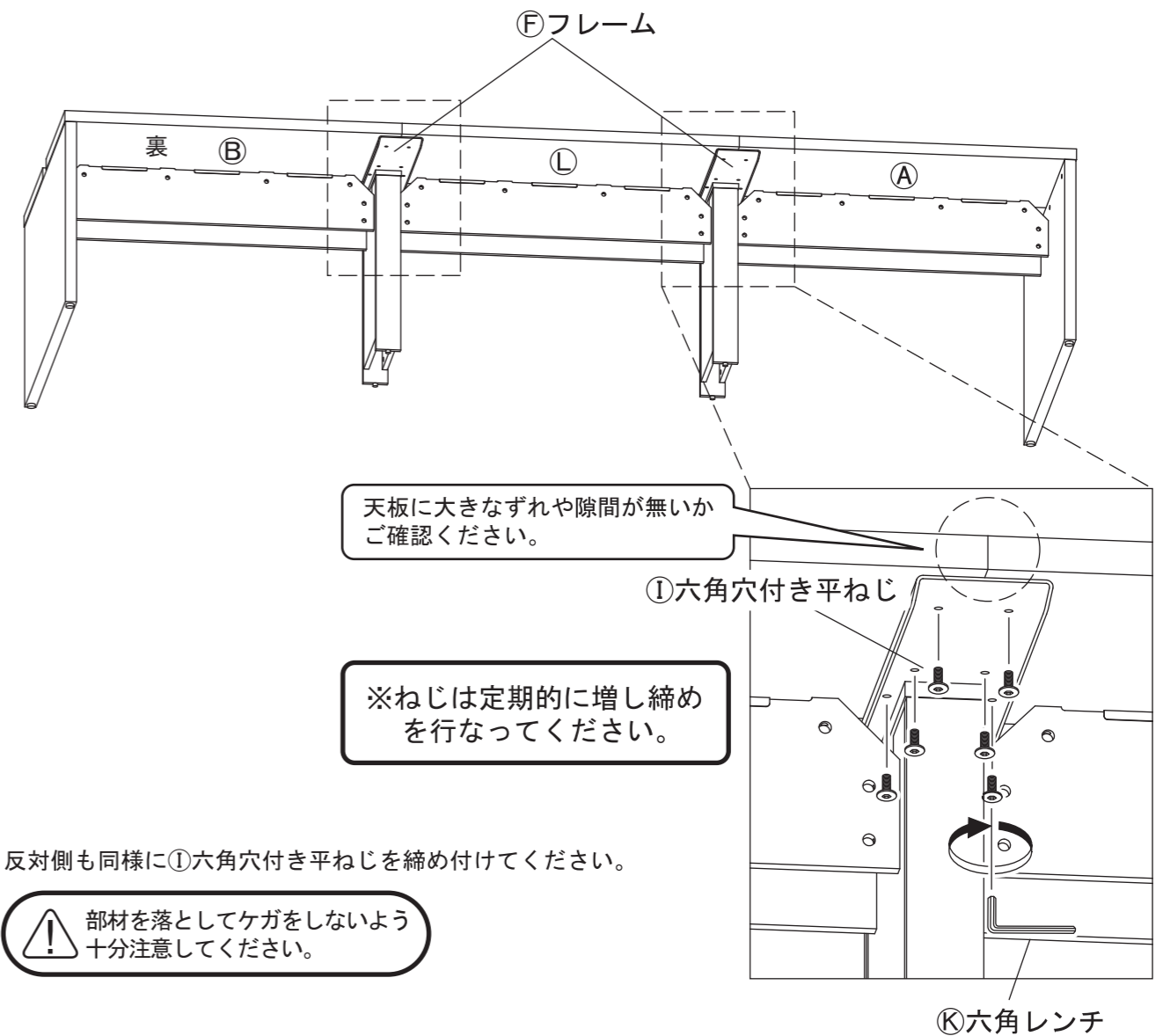
- ①増連天板に①ジョイントシャフトを回し入れてください。
 ※ジョイントシャフト取り付け部分には、ナットが埋め込まれています。
 ■ページ2の「ジョイントシャフトとカムロックの正しい締め付け方法」をご参照ください。



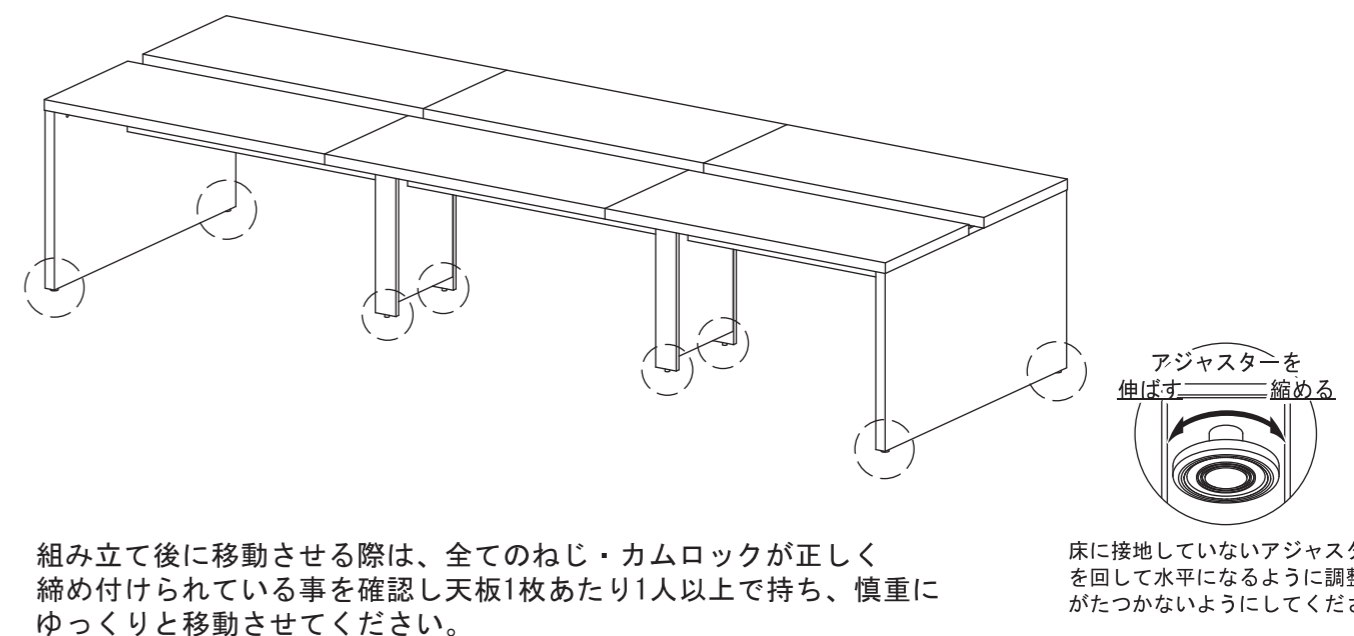
- ④で取り外した①②左右天板と①増連天板を取り付けます。
 ①②左右天板・①増連天板を1枚ずつ二人以上で慎重に持ち上げ、取り付けられている①ジョイントシャフトを
 ③脚部・⑤幕板の横穴に差し込んでください。その後、③脚部・⑤幕板のカムロックを回して締め付けてください。
 ■ページ2の「ジョイントシャフトとカムロックの正しい締め付け方法」をご参照ください。



- ①②左右天板・①増連天板と①フレームを固定します。
 ①②左右天板・①増連天板の裏側から、①六角レンチを使って①六角穴付き平ねじを締め付けてください。



- ①②左右天板・①増連天板が床と水平になるよう、アジャスターを回して調整してください。



！ 取扱上の注意 ご使用前にこの取扱上の注意をお読みになり正しくお使いください。
またお読みになった後は、大切に保管してください。

安全のために必ずお守りください

- 積み重ねて保管しないでください。倒れてケガをすることがあります。
- 外周部に片寄って重いものを載せないでください。倒れてケガをすることがあります。
- 火気の側に近づけて設置しないでください。火災の原因となります。
- 耐荷重以上のものを載せないでください。破損の原因となります。
- 各部のねじ類が緩んだ状態で使用しないでください。破損や転倒することがあります。
- 異常を発見したらそのまま使用せず、販売元に相談してください。破損や倒れてケガをすることがあります。
- 商品に乗ったり腰をかけたたりしないでください。倒れてケガをすることがあります。
- 用途以外には絶対に使用しないでください。思わぬ事故が発生することがあります。
- 分解や改造をしないでください。破損やケガをすることがあります。
- 傾斜のない平らな場所へ設置してください。
- 物を載せたまま移動しないでください。破損やケガをすることがあります。
- 安全上、構造上の理由により仕様を予告なく変更する場合があります。
- 商品を移動させる際は、二人以上でゆっくり行ってください。段差などで破損する場合があります。
- ご使用前にアジャスターを床に合わせて高さ調節してください。アジャスターの調整時は手や足を挟まないように気をつけてください。
- この表示を無視して誤った取扱いをしますと、死亡又は重傷を負ったり、傷害または物的損害が発生する場合があります。その場合の責任は負いかねますのでご了承くださいますようお願いいたします。

使用上の注意

- ▲直射日光・暖房器具などの高熱を避けてください。変色・変形することがあります。
- ▲湿気の多いところに設置しないでください。腐食・変色・変形することがあります。
- ▲板面に硬いものを落としたり、ぶついたりしないでください。破損することがあります。
- ▲加熱した鍋やヤカンなどを直接置かないでください。
- ▲屋外や水がかかるような場所でのご使用は避けてください。変色・変形することがあります。
- ▲液体物が付着した場合は、放置せずすみやかに拭き取ってください。化粧面が変色、変形する場合があります。
- ▲ご使用の環境により、床面にアジャスター・キャスター等の商品接触による変色や跡が付くことがあります。特にフローリングやクッションフロアでご使用の際はご注意ください。

お手入れ方法

- ◆汚れを落とす場合は、から拭きするが固く絞った濡れぞうきんで拭いてください。
- ◆汚れがひどい場合は、薄めた中性洗剤で汚れを落とし、固く絞った濡れぞうきんで拭き取り、そのあと乾燥した布で水分を十分拭き取ってください。
- ◆シンナー等の使用は避けてください。変色・変形の原因となり、塗装が剥がれる場合があります。
- ◆ねじ類は必ず増し締めをしてください。

組み立て方やお手入れに困ったら

アールエフヤマカワ お客様相談室

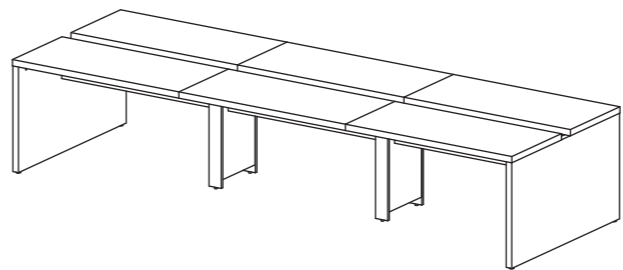


＜品質表示＞			
外形寸法 (mm)	幅	奥行き	高さ
基本 RFFTT-(12)WH(OA)(BK)-T(L,CB,ML)	2400	1200	720
増速 1台分 RFFTT-(12)(AD)WH(OA)(BK)-T(CB,ML)	基本 +1200	1200	720
耐荷重 (均等荷重) 天板 1枚当たり	約 40kg		
材質 甲板の表面材・脚部	合成樹脂化粧繊維板 (メラミン樹脂)		
フレーム	金属 (鋼)		
アール・エフ・ヤマカワ株式会社 ☎0120-204-208			

！ 商品チェック 当社製品をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。
安全に永くお使い頂くために、お客様ご自身での製品チェックにご協力をお願い致します。

不良により返品や交換をご希望される場合は、問題箇所とお客様情報をご記入の上 FAX 頂くか、お電話にて弊社お客様相談室までお問い合わせください。

W3600



チェック項目

品質向上にご協力いただきありがとうございます。安全にお使いいただくため、下記項目は定期的にご確認ください。

- 本体に破損や変色・変形は見当たらないか**
…異常を発見した場合はお問い合わせください。
- カムロックは正常に締め結けられているか**
…別項「カムロックの正しい締め結け方法」をご参照ください。
- 隙間やグラつきはないか**
…全てのねじがしっかりと締め付けられているかご確認ください。
ねじにゆるみがないよう、定期的増し締めしてください。
- 完成図との相違は見当たらないか**
…安全にお使い頂くため、取扱上の注意は必ずお守りください。

その他問題事項があった場合、枠内へのご記入をお願い致します。

ご協力いただきありがとうございました。

ご氏名	
お電話番号	
FAX番号	

月曜日-金曜日(祝日を除く) AM9:00~PM5:00 アール・エフ・ヤマカワ株式会社 お客様相談室	☎0120-204-208 FAX 059-256-5333
申込番号	
品名	ソリード フリーアドレス用デスク
商品番号	
お買上日	年 月 日
お買上サイト名	